

令和7年度第5回印西市総合教育会議に関するアンケートについて テーマ「地域とともにある学校づくりの推進に向けた、 コミュニティ・スクールの在り方とは」

※会議の様子は市 YouTube チャンネルからご覧いただけます。

令和7年度第5回会議のアーカイブは次のとおりです。

<https://www.youtube.com/watch?v=yLQyZvFwDoE>

いただいたご意見（今回のテーマについて）

- ・コミュニティ・スクールで地元への愛着を強めることは良いが、小学校だけではなく中学校高校まで続く教育体系の中で教えていかないと、地元愛が育たず結局人財が県外に流出してしまう。評価も含めて長期的な児童の育成計画が必要です。結局、地元学校に安心して任せられないので、教育地盤を強化しなくてはならない、と思います。
- ・柏市の小学校の取り組みは大変参考になりました。
- ・総合教育会議では、教育大綱や教育政策の方向性など、政策的な議論に集中すべきだと考えます。教育委員が制度の基礎や自ら承認した規則の内容を確認するのは、本来、教育委員会会議や事前の説明の場で行うべきであり、会議の時間を制度説明に費やすのは適切ではないと思います。
- ・学校運営協議会は、学校教育と密接に関わるものです。それが生涯学習課で担当するのには限界があるのでは無いでしょうか。学校の先生がいるような部署で所管したほうが、学校教育との繋がりが強固になるのではないのでしょうか。
- ・PTA みたいに続けるためだけにあるようにならないで、まずは印西市内の教職員、市民、保護者の意識の改革が必要だと思います。そして、その意識を定期的に再確認することによって、長期的なものになると思います。
- ・柏市立富勢小学校校長の話はなかなか良かったです。ただ、対外アピール力はあるが、児童の発達の観点からの体系だった評価が曖昧な気がしました。学校の壁を乗り越えてコミュニティ・スクールを構成するのは良いが、学校運営協議会とコミュニティ・スクールの間の考え方の調整が上手くいくのか？プライオリティのつけ方にも工夫が必要と思いました。校長先生の資料のデータ根拠が表示されていないので、どこまで信頼できるか不明でした。児童の地域への愛着を強めることは良いが、小学校だけではなく中学校高校まで続く教育体系の中での取り組みでないと人財が市外へ流出してしまう。結局、地元中高等学校に安心して任せられない。教育地盤を体系立てて強化しなくてはならない、と思います。

いただいたご意見（今回のテーマ以外について）

- ・教員志望が少なくなっているなので、どうにかして先生の魅力を発信できるとよいと思う。

- ・地域の学校の規模の格差を縮められないか。学区を選べるようにする、学校によって特化したものを作るなど、市民から意見を聞いて、議論ができたと思います。
- ・中学高校大学迄の一貫した教育連携についてお打ち合わせの機会を頂きたいと思います。

※いただいたご意見につきましては、教育ビジョンの策定及び教育施策を進めていく上での参考とさせていただきます。

※中学高校大学迄の一貫した教育連携につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。具体的なお話につきましては、企画政策課までご連絡ください。